



— 新年の阿蘇神社御社頭 —

阿蘇神社 <http://asojinja.jp>

社報 あそみや

令和 2 年 1 月 1 日

第 76 号

発行所

阿蘇神社社務所
多良見町化屋 862
☎ 0957-43-5235

迎
春

阿蘇神社
宮司 大島 大明

令和二年の初春を寿ぎ、氏子崇敬者皆様のご多様ご繁榮を祈念申し上げますと共に、本年も変わらぬご支援とご高配を賜りますようお願い申し上げます。

顧みますと昭和六十三年九月一日付で阿蘇神社に着任、昭和最後の正月を奉仕しました。爾来氏子崇敬者皆様方のご厚情を賜りながら奉仕をいたしております。

日本がここに集まる初詣

山口誓子

昨年は御本殿洗浄塗装工事を実施、氏子各位の浄財で御社殿は永年の垢を落とし美しく、御神威も増し喜々津の総鎮守として更なる御加護を賜るものと存じます。

今年は古稀を迎える年齢になりました。神主は生涯の全てが修行と言われます。微力ながら本年も精一杯努めて参りますので、昨年同様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

敬神生活の綱領

神道は天地悠久の大道であつて、崇高なる精神を培い、大平を開くの基である。

神慮を畏み祖訓をつぎ、いよいよ道の精華を發揮し、人類の福祉を増進するは、使命を達成する所以である。ここにこの綱領をかけて向ふところを明らかにし、実践につとめて以て大道を宣揚することを期する。

一、神の恵みと祖先の恩とに感謝し、明き清きまことを以て祭祀にいそしむこと

一、世のため人のために奉仕し、神のみこともちとして世をつくり固め成すこと
一、大御心をいただきてむつび和らぎ、国の降昌と世界の共存共栄とを祈ること

令和二年節分祭 豆撒き奉仕者募集!!

阿蘇神社恒例の節分祭が二月三日(月曜日)に行われます。

諫早市を代表する迎春行事の一
つとされる阿蘇神社の節分祭には、
毎年町内外より多くの方が、一年
間の福を求めて参拝されます。
十二年に一度のチャンスです。
子(ネズミ)歳生まれの皆さん、豆
撒き行事に是非ご参加下さい。
令和最初の節分です。必ずや記
憶に残る豆撒きになります。



— 特設舞台から豆撒き —

◎募集要項◎

一、日時

二月三日(月曜日)

豆撒きの時間

一回目 午後六時四十分

二回目 午後七時四十分

三回目 午後八時四十分

※辯への着替えのため、いずれも
四十分前には神社に集合してい
ただきます。

二、募集人員

各回 各回 合計二十一名

男女は不問ですが、子供は
七名中二名までです。

三、参加料

大人 八千円・子供 五千円
記念写真・記念品を贈呈

四、申込方法

住所・氏名・生年月日・電話
番号と希望する豆撒きの時間を
紙に書いて、参加料を添えて社
務所へお届け下さい。
(申込用紙は神社にあります)

桔の数の都合で定員になり次
第締め切れますので、お早めに
申込をお願いいたします。
電話での予約も受けています。
電話 四三一五二三五
アクセス 四三一二一八三



— 火焼神事 —

◎節分とは

春夏秋冬の四季に恵まれた日本
では、四季を更に細かく区分して
二十四の節氣としています。

節分は季節の移り変わる節(立

春、立夏、立秋、立冬)の前日のこ
とで、年四回の季節の変わり目に
は、古来より様々な行事が行わ
れていたようです。
現在では節分というと、立春の
前日を指します。豆撒きをして邪
気を祓い、清々しい気持ちで春を
迎えたいものです。

今年の年男・年女(子歳)
平成二十年生、平成八年生、
昭五十九年生、昭和四十七年生、
昭和三十五年生、昭和二十三年生、
昭和十一年生

新嘗祭終了

十一月二十三日に恒例の新嘗祭が斎行されました。阿蘇神社では、田植え後の田祈祷祭を五穀豊穰の祈念(願掛け)の祭、秋の新嘗祭は願成就の感謝の祭ですが、御代替わりの今年は、去る十一月十四日の夕刻より翌十五日曉に掛けて斎行された大嘗祭を奉祝する意も込めて行われました。

御神前には初穂を始めとする神饌、幣殿左右の柱には懸税(かけだから)の稻穂の束が掲げられ、また神社本庁よりの幣帛、氏子崇敬者よりの供物・初穂料が供えられました。祭典では、宮司が令和の御代の弥栄を讃え、五穀豊穰の感謝と諸産業への更なる御加護を祈念する祝詞を奏上しました。

祭典終了後は、社務所に移動し直会を催しました。直会では北島総代会長の挨拶に続き、来賓を代表してJA長崎西彼理事谷口謙太郎氏、諫早市議松尾義光氏が交々祝辞を述べられました。次いで評議員高柳監事の発声で乾杯、令和最初の新嘗祭を祝いました。

新嘗祭に際し以下のとおり奉納

を賜りました。御札を申し上げます。

☆新嘗祭への奉納☆【敬称略】

- ◇懸税・神饌米 松山弥八
- ◇初穂 西彼支部献穀田奉賛会
- ◇献穀米 長崎県神社庁西彼支部
- ◇ミカン JA長崎西彼喜々津支店長・米田泰彦
- ◇献酒 親和銀行多良見支店長 中田直彦、たちばな信用金庫多良見支店長 山下圭、十八銀行多良見町支店長 本村明
- ◇初穂料 慈恵病院・松本卓郎、JA長崎西彼理事・谷口謙太郎、株溝上建装・溝上元規、(有)森商会・森誠司、JA長崎西彼喜々津支店長・米田泰彦、峰輝次、石丸聰、溝上靖一、松尾義光、北島守幸、森高永久、高柳伸市、内村典秋、前山茂大、中路徹、森英敏、原口博道、犬塚勇、松尾勝正、松山司、森文茂、黒木康吉、内田克夫、森文茂、福田泰昭、金水勝美、以上

◇総代会便り◇

①注連縄つくり

十二月一日に恒例の「注連縄つくり」を行いました。注連縄と御社殿前の門松は、従来業者に委託しておりましたが、経費の節減のため、平成十二年度の評議員会で手作りすることを決め、以来総代会の事業として継続されています。

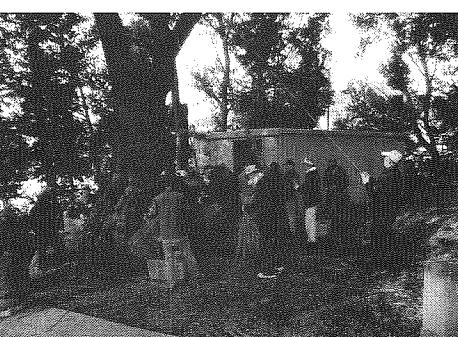
また、門松は二十九日に仕上げ手作りすることを決め、以来総代会の事業として継続されています。

当日は神社総代、評議員、元総代他有志の方々が参加して作業を行いました。

参加者も多く三時間で大注連縄五本を作り上げました。注連縄は二十二日に鳥居他に取り付けられます。

また、門松は二十九日に仕上げ作業を行い、御社殿前に設置されます。初詣の折りには、手作りの注連縄と門松を是非ご覧下さい。

②初詣の御神酒授与



— 注連縄つくり —

神社総代は大晦日に集合。初詣参拝者へ御神酒を授与します。午前零時に樽酒の鏡割りを行い、引き続き参拝者へ御神酒を振る舞います。令和の御代の初めてのお正月です。新しい御代を祝して御神酒をお受け下さい。

◎祝祭日には国旗を掲げてお祝いいたしましょう
◎お正月には新しい御神札を受けて家庭に祀りましょう

初音は阿蘇神社へ!!

一年の計は元旦にあり

ご家族お揃いで阿蘇神社へご参拝下さい

お知らせ

◎元旦午前零時より三日まで、参拝者は御神酒(樽酒)を振る舞います。

◎新年の御祈願は元旦午前零時より受け付けます。会社・団体の新年の祈願祭も随時受け付けています。

◎開運招福・家内安全
社運隆昌・商売繁昌
厄入・厄払・試験合格
交通安全祈願他

◎神社の駐車場は台数に限りがあります。ご参拝の皆様方にはご容赦のほどお願いいたしますが、ご不便をお掛けいたしますが、ご容赦のほどお願いいたします。

十二月三十一日午後四時	二月一日午前零時	二月一日午後十一時	一月一日午前零時	一月一日午後八時	一月三日午後五時	二月三日午後五時	二月三日午後十一時
大祓式	除夜祭	歳旦祭	元始祭	節分祭	火焼神事	豆撒行	奉納演奏
年始祭	元始祭	引継ぎ	豆撒行	豆撒行	豆撒行	豆撒行	豆撒行
祭	祭	引き継ぎ	豆撒行	豆撒行	豆撒行	豆撒行	豆撒行
祭	祭	豆撒行	豆撒行	豆撒行	豆撒行	豆撒行	豆撒行

◆年末年始の神社行事予定◆

令和2年 算賀表

(年齢は数え年)

厄入 男	41歳	昭和55年生
厄入 女	33歳	昭和63年生
厄払 男	42歳	昭和54年生
厄払 女	34歳	昭和62年生

その他の大厄の年

男	25歳	平成8年生
女	19歳	平成14年生

◎その他、男女とも22歳、28歳、37歳、49歳、52歳、58歳が厄年とされています。

還暦	61歳	昭和35年生
古稀	70歳	昭和26年生
喜寿	77歳	昭和19年生
米寿	80歳	昭和16年生

◎その他、90歳を卒(卒)寿、99歳を白寿、100歳を上寿といいます。

参賀は人生の節目です。
神様に報告をいたしましょう。

◆編集後記◆

昨年も異常気象で自然災害の多い一年でした。未だに仮設住宅等での生活を強いられている被災地の人々の辛労辛苦を思うと胸が痛みます▼今年は東京五輪の年、国のみならず世界中の内外に漂う暗雲を吹き払い、平和の祭典が恙なく開催されることを祈りたいと思います。若きアスリートの活躍を期待し、応援したいと思います▼日ごとに寒さも厳しくなつて参ります。ご自愛専一にお過し下さい。

監	宮
事	總代會長
リ	副會長
リ	司
リ	北島勝幸
リ	大島克夫
リ	内田昭
リ	坂井義則
リ	福田昭
リ	黒木吉
リ	柳井勝
リ	高山彦彦
リ	松尾彦
リ	秋彦
リ	彦彦

謹賀新年

